

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢 掛	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
玉 島	0	0	2	0	2	0	0	1	×	5

矢 花岡 一 小池

文責：春名 野々花（普通科探究コース 3 年）

代表決定戦の先発マウンドには、2 年生右腕の花岡（木之子中）が上がる。

- 1 回表、矢掛高校の攻撃。先頭打者の赤木（小北中）が内野安打を放ち、続く大山（小北中）の進塁打により塁を進める。さらに、二死から真砂（木之子中）が適時右前打を放ち、幸先よく先制点を奪う。
- 1 回裏、玉島高校の攻撃。先頭打者に失策で出塁を許し、さらに盗塁も決められるが、花岡が落ち着いて後続を抑え、課題の立ち上がりは無失点で終える。
- 2 回表、矢掛高校の攻撃。二死から代打；木尾（美星中）を投入するも、相手投手の好投により三振。
- 2 回裏、玉島高校の攻撃。先頭打者に四球を与えてしまい、犠打も決められるも、後続を抑える。
- 3 回裏、玉島高校の攻撃。先頭打者に四球を与えてしまい、次打者の目の覚めるような痛烈な中越三塁打で同点とされる。さらに二死から右翼線二塁打で、追加点を許し、あっさりと逆転を許す。
- 4 回表、矢掛高校の攻撃。一死から真砂が中越二塁打を放ち出塁する。ここで次打者への投手の投球がショートバウンドになる間に三塁を狙うが、相手捕手がうまく処理し、三塁タッチアウトとなり、無得点。
- 4 回裏、玉島高校の攻撃。一死から悪送球で走者を背負うが、後続をなんとか抑え、無失点。
- 5 回表、矢掛高校の攻撃。二死から佐藤武蔵（木之子中）が悪送球により出塁する。同点に追いつきたい場面だが、後続が抑えられ、チャンスを作ることができない。
- 5 回裏、玉島高校の攻撃。一死から失策により出塁を許し、次打者の内野安打で、二人の走者を背負う。さらに続く打者の打球が悪送球となり 1 点を失う。さらに続く、一死一・三塁のピンチは、三塁走者を挟殺とし、二死を奪う。しかし、守備のリズムを乱した矢掛高校はまたも悪送球が生じ、さらに 1 点を追加される。この回、2 点を追加され、苦しい展開のまま試合は後半へ。
- 6 回裏、玉島高校の攻撃。二死から中前打を放たれるも、小池が盗塁を刺し、無失点。
- 7 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の真砂が死球により出塁するも、次打者の犠打が二塁封殺となり、チャンスを作ることができない。
- 7 回裏、玉島高校の攻撃。一死から内野安打を放たれ、四球で一・二塁とされる。ここは牽制で二塁走者を刺し、ピンチを脱する。
- 8 回表、矢掛高校の攻撃。二死から赤木がこの日 2 本目の内野安打を放ち、出塁する。続く大山も四球でチャンスを広げるが、後続に 1 本が出ず得点ならず。
- 8 回裏、玉島高校の攻撃。これ以上の失点は防ぎたい矢掛高校だったが、一死から左前打と進塁打で二塁に走者を置き、右前打で致命的な 1 点を奪われる。これで 4 点と大きなビハインドを抱え、最終回を迎える。
- 9 回表、矢掛高校の攻撃。どうにかチャンスを作りたい矢掛高校は一死から代打；三澤（真備中）を投入する。しかし、二ゴロに抑えられ出塁することができない。続く森上（総社西中）は右翼線二塁打を放ち出塁。さらに代打；上山（木之子中）も左前打で続き、二死一・三塁のチャンスを迎える。ここで、暴投の間に 1 点を返すが、反撃もここまで。最後は投ゴロで試合終了。

矢掛高校は5対2で春季県大会優勝の玉島高校に敗北した。今回の試合では、失策が失点につながり、守備から流れを作ることができなかった。一度リズムが乱れても立て直すための実力とメンタルをつけていきたい。また、打撃面ではヒットは見られたが、後続が抑えられてしまったり、肝心なところで打てなかったりと、多くの課題が浮き彫りとなる試合となった。取り組む内容に順序をつけ、チーム全体で共有しながら夏の大会に向けて練習を重ねていきたい。また、それぞれが置かれた場面で、的確な判断をし、打撃と守備の両方を強化し、今後の試合にも挑んでいきたい。

今シーズンの勝敗

19 勝 6 敗 3 分